



親子で体験!

じてんしゃスクール



2017年 4月16日(日)

in 尾張旭市民プール



☆ 「親子で体験! じてんしゃスクール」レポート ☆ 会場 尾張旭市民プール駐車場

尾張旭、瀬戸、長久手、稲沢から、小学生とその保護者の方、約50名の皆さんが参加。まず、おまわりさんから「自転車には、反射材が付いています。」というお話がありました。周りに自転車の存在を知らせることも安全のためにとっても大事です。

その後は、子どもも大人も自転車にのって練習。自転車にまたがったら、左足をつく。ブレーキは両手で「じわ〜っと」かける。先を見て、まっすぐ進んで、ブレーキでしっかり止まる。スラロームをスムーズに。一本橋やシーソーをゆっくり慎重に。トンネルをぬけたら、止まって安全確認。

自転車の整備・点検のお話では、ドバツライノハウスの斉場さんからクイズ。「タイヤは、ゴムでできていますが、一番初めの自転車のタイヤは、何でできていたのでしょうか?」タイヤの歴史も学びました。そして、空気入れの体験。参加者のほとんどが、空気入れは未経験。大人気のコーナーとなりました。50年前の自転車も2台展示。自転車は、長く使うことができる乗り物です。整備・点検をしっかりして大切に、そして、安全に乗りましょう。



ウィーラースクールのカリキュラムを参考にしています

後援：尾張旭市・尾張旭市教育委員会

協力：尾張旭市市民活動課・守山警察署交通課・前原デンタルクリニック・ドバツライノハウス・G I ANT名古屋翠香書院・愛知県教員有志・あいちエコモビリティライフ推進協議会・(一財)日本交通安全教育普及協会

ウィーラースクールジャパン・矢橋昇公共交通マナー育成塾・守山尾張旭交通安全協会・CyclingTeamKATAYAMA

ドバツライノハウスの斉場さんによる自転車の整備・点検のお話。タイヤの歴史の話も。「ダンロップさんがね・・・。」
 「タイヤに空気を入れたことある人、いますか？」
 「パンク修理したことある人、いますか？」
 経験者は、ほんのわずか。
 「このポンプを使って空気入れてみましょう。」
 子どもも大人も、初めての経験にワクワク。



タイヤの中には、
何が入っている
でしょうか？



スタッフによる
模範。
止まる時は、足
で地面を擦って
止まりません。
両手でブレーキ
を「じわ〜っと」
かけます。



「止まれ」の標識では、ブレーキで
しっかり止まる。
そして、発車する時には、安全確認。
「右・左・右・うしろ」
とてもだいじです。



キッズスタッフも大活躍。
受付や準備体操のお手本、紙芝居の補助。そして、模範走行や
「止まれ」の標識の場所での声かけ、などなど。
安全確認のキビキビした動作や、自転車を上手に操る姿が、とても
「かっこいい！」

子どもも大人も
おまわりさんも
みんなで
チャレンジ



道路では
歩行者1番 自転車2番



写真：安藤 文：片山



OSCN じてんしゃスクール
TEL 0561-52-3134 (片山)
www.oscn-school.org